

全日本空輸(株)[ANA]内定

言語コミュニケーション学部4年生H・Aさん

(株)日本航空[JAL]内定

言語コミュニケーション学部4年生Y・Aさん ヘインタビュー！

「客室乗務員」女性なら一度は憧れる職業ですよね？

そんな夢の職業に内定を決められたお二人の先輩に最高の笑顔と共に話っていただきました！

「就活は自分を知るチャンスでもあるし、自分を成長させる本当に大切な期間」

●この度は内定おめでとうございます。

2人『ありがとうございます』

●今日は就職活動を終わられ、客室乗務員に内定を決められたお二人にお話を伺っていきたくと思います。就職活動の準備から面接本番まで…最後までよろしくお願いします！

2人『はい、お願いします』

●では、まず初めに就職活動の準備と企業展のお話を聞かせて下さい。企業展はやはりスーツで行かれましたか？

H・A先輩(以下:H)「はい…あ、でも最初は『服装自由』ってよく書かれているんですけど、でもだいたい行くとみんながスーツなので、一人私服だとちょっと浮いちゃうかな」

Y・A先輩(以下:Y)「一人か二人くらいは私服の方がいる程度です」

●では就職活動中の学生にとって、スーツは基本中の基本ですね。

H「そうですね」

●3年生だとスーツは何着ぐらい必要ですか？結構使いますよね？

H「使います。だから私は2着持っていて、一着はキチツとしたものを、もう一着は本当に安い…3点セットで一万円みたいなものを買いました。それで企業展に行く時とか、よく動く時は安い方を使って、面接の時はキチツとした方を着るようにしていました」

Y「私も一応2着持ってたかな…？でも一着は適当な家にあったものだったんですけど、私はそれはあんまり着て行かなくて…。やっぱり一着をずっと着回す感じで、大事な日の前にクリーニングに出すという感じ。私の友達も結構1着しか持っていない子もいたし」

●そうなんですか！スカートやパンツなど、選んで行きましたか？

H「私達の職種はちょっとパンツの方はいないので…だいたいスカートばかりですね」

●やっぱり職種によって違ってきますか？

H「それもあるかもしれない。企業展はパンツ履いて行ったりしてました」

Y「でも面接はだいたい皆スカートだよな？」

H「うん、スカートの方が好まれる気がしました」

●シャツに色や柄が入っているものはどうですか？

H「職種によっては良いと思います。でも銀行とか、少しお堅い所だとあまり派手なものは好まれないかなって思うけど…。でもそんなに派手じゃなくて、薄いピンクとか薄いブルーとか少しストライプの入っているものとか着ている人はたくさんいたので、白じゃなきゃダメって事はないと思う」

●客室乗務員さんでも大丈夫ですか？

H「もちろんそうですし、他の企業でもいたよね？」

Y「うん、顔色がよく見えたりするから」

H「そう、自分に似合う色とかね」

●ビジネスバッグはどういうものを買いましたか？

H「私は高島屋に売っているリクルート用のものを買いました。荷物がキチッと入るもので、置いても倒れないものを選んで買いました」

Y「私はスーツ店でセットで買うと安くなるよって言われて…(笑)それを買ったんですけど、結構みんな肩にかけれるものが主流ですよ？でも私は肩にかけて一々おろしたりとか…やっぱりマナーがあるじゃないですか？そういうのもめんどくさいなと思ったりして。私は普通に持てる感じの手提げバッグみたいなものなんですけど、やっぱりちゃんとA4サイズがきれいに入って倒れないものを選びました」

●『倒れない』はかなり重要なんですね。

H「重要ですね。鞆の中にかくさん入れるだろうから…SPIの教科書とか、あと面接集とか。だからあんまりにも薄すぎると入らなくてパンパンになってしまうし、面接の時に台や自分の横に置くので、倒れるとかなり焦ります(笑)」

Y「音がするんだよね！倒れた時に後ろで！」

H「だからそこはキチッと見た方が良いと思います」

●髪型はどんな髪型にして行きましたか？

H「私は客室乗務員以外だとハーフアップだとか、一つに結んだり…でも絶対前髪は落ちてこないように。前髪はあご下まで伸ばしていたので、まとめて入れるようにして。それでスプレーをガッツとかけて、カチカチに固めて行きました。毛先もちょっと巻いて、内巻きになるように、跳ねないようにして行きました」

Y「私もエアラインではシニオンでお団子にしてたんですけど、きっちり固めて絶対に落ちないように。他の企業の時や企業展の時はやっぱりハーフアップとか、普通にポニーテールとかで、前髪もやっぱり落ちないように。でも私はそんなに前髪が伸びていたわけではなかったの、とりあえずピンがあまり見えないように留めて。ピンが見えると幼く見えちゃうから、端につけたり、中にしまい込んだり…前髪はね、ちょっと工夫したかも」

H「たまに電車とかで、前髪が目にかかっている子見るけど、私たちから見ても暗く見えちゃうから…やっぱり面接官からもそう見えると思う」

Y「お辞儀をした時に気になっちゃうじゃない？髪を触ったりすると、やっぱりあまり印象が良くないし。何よりも自分が一番気になる」

●髪色とかはどうですか？

H「色はもう黒にしました。私は美容院で5番とか4番とか」

Y「やっぱり黒が一番無難」

H「無難だと思う。面接官から見たら、やっぱり茶色いよりは黒い方が…」

Y「(茶髪の方は)浮いてるよね、きっと」

H「みんな黒いから。逆に「大丈夫かな!？」ってこっちが心配しちゃう(笑)」

Y「茶髪でもアパレルの子で受かっている子もいたんだけど、すごい立派な会社に。だけど一般的には多分、黒が一番かな？」

●お化粧も普段とは違いますか？

H「そうですね。やっぱりアイラインとかは、下はもう絶対描かなくて、上だけ。アイシャドウもブラウンとかそういう暗い色よりは、ちょっとピンクとか明るめなものをね」

●抑え目よりも明るい方が良いんですか!?!少し意外です。

H「そう！チークも結構つけたり…学校でもメイクの授業あるから、そこでアドバイスもらったり」

Y「職種にもよるかな？銀行とかだとやっぱり抑え目の方が良いかもしれないし」

H「うん、でもしないのはまずい。清潔さがなくなっちゃうから」

●一番大切なのは『清潔感』ですね。先輩方はインターンシップには行かれましたか？

H「私たちは行ってないです(笑)」

Y「時間もなかったしね」

H「その代わりに、アルバイトとかボランティアとか、そういう事を積極的にやりました」

●やはりそういった経験を積み重ねて就職活動に臨むんですね！

Y「そうだね！ネタが増えたんで、聞かれた時の」

H「ネタがないとね、聞かれた時に困ってしまうから」

●これで準備は万端！いつ頃から企業展に行き始めましたか？

H「私達は10月に初めて行って、でもそれは実際まだ私達の上の学年用のもので…それを知らなくて(笑)」

Y「なんか場違いで(笑)」

H「でもちゃんと説明してくれて、私達の悩みもちゃんと企業の方が聞いてくれて。『私達の会社はこういう所だよ』って言うの教えてくれて…それが初めてかな？」

●その時期に行って良かった？

H「思う、思う」

Y「だんだん人が多くなってくると、やっぱり一対たくさんになってくると思うんだけど。その時は2008年度卒対象…私達は2009年度卒なんだけど…だから結構人が少ないので、一対一で話せるんですよ。だから聞きたいことなんでも聞けちゃうし」

H「実際、人事の人に突っ込んで質問もいっぱいしたし」

Y「人事の人の雰囲気も分かるし」

●人事の方にはどんな質問をしたんですか？

H「仕事の内容とかについても質問したし、あと…」

Y「『女性が結婚しても働けるのか？』とか」

H「ちゃんと産休とかそういうのも聞いたり」

Y「あと『会社の雰囲気はどうですか？』とか」

H「本当にありきたりな質問をして…で、ちょっとここは違うなって思ったりもしたし(笑)」

●あ、やっぱりそういうことも…

H「あるある」

●事前に準備して『ここ良いな』って思っても、実際話聞いたら『やっぱりちょっと違うな』っていうこともあるわけですね？

H「逆もあるし、あんまり興味なかったけど、話聞いたら良いなって思ったり…」

●では、あまり型にとらわれずに視野を広げて行った方が良いですか？

H「それは絶対そう！」

Y「本当に、時間が空いたら色々なブースに行ってみた方が絶対に良い！」

H「人がいない時とかね」

●人事の方に対して何かお勧めの質問ってありますか？

二人『ええ!?なんだろう?』

Y「…私はしなかったんだけど、あとで成程なって思ったのが、アメリカ人の先生が言ってたんだけど『この会社で働いている女性で一番年上の方は何歳ですか?』って聞くと良いって」

●あー!!なるほど!!!

Y「その人が結構年長だとやっぱり長く働ける会社なんだけど、やっぱり追い出す雰囲気がある会社って言うの

も多いから…」

H「みんな若いとかね…」

Y「言わないけど雰囲気は…とか」

H「産休制度とか多分今どこもつけなきゃいけないから絶対にあるんだけど、それが実際にみんな使っているの
かって言う…」

Y「『何人ぐらい使っていますか？』、『何パーセントくらいの方が使っていますか？』って聞かないと、あるの
に使ってないとか使えないっていうのもあるし」

H「使い辛いとかあると思う」

●そういう質問もちゃんと答えてくれますか？

H「聞いたら相手は答えると思う」

Y「でもそれが良い事しか言ってないのかもしれないし、それは分からないけど…」

H「女性が多い職場だとそういうのは安定してると思うけどね」

●企業展に行く時にお目当ての企業はありましたか？

H「もちろんあって、実際に行くよね。もう本当に全く興味のない企業ばかりだったら行かなかったり。行きた
い所だと一回だけ学校休んで行った事もあった(笑)」

Y「目星だけ付けて」

H「絶対に全部は回れないから、ある程度目星だけ付けといて、そこに行って今日は満足っていう風にしないと。
疲れちゃうから(笑)」

●目星を付けていった企業について調べたり、研究したりしましたか？

H「企業展に行く時はもうその場で知るような感じだった。興味があったら家に帰ってホームページ見たり」

●何を基準に目星を付けましたか？

H「行きたい職種だったり、内容だったり。私達は航空業もだし、ホテルも見に行ったり。一回証券会社とか金
融系を見に行った時があったんだけど…本当に興味なかったけど一度行ってみようって思っ行って。すごくゆ
っくり証券の話について教えてくれたんだけど、何を聞いても全く分からなくて。その時に『あ、やっぱり違う
んだな』って分かったから(笑)だから興味のない所でも行くのは絶対に良いと思う。もしかしたら良いなって思
うかもしれないし、やっぱりダメだってなるかもしれないし(笑)」

Y「確認もできるし、いろいろ行ったね」

H「エステも行ったし、旅行系も行ったし」

Y「『やっぱり良い！』って思ったり、全く興味なかったのに『わ！すごい！こう言うのもあるんだ』、『こう言
う仕事も良いな！』って思ったりとか。本当に視野が広がった気がするかな？」

H「特にアキは一瞬迷ったよね？『みんなで一つのものを創り上げる仕事も良い』って言ってる時もあるって」

Y「うんうん。でも個人的にがんばって、営業みたいな？一人一人に訪問とかするのも楽しそうだなって思っ
たりとか。いっぱい迷った！本当に迷った！(笑)」

●一人で企業展に行く事はありましたか？

H「一人では行ったことないです。けど一人でも全然行けると思う。一緒に行っても、友達と違う職種だったら
別れたり…それはありました」

Y「初めの方は結構一緒に回ってて。ウキウキ気分で(笑)」

H「楽しい感じでね(笑)でも早いうちからあの雰囲気に慣れたしね？」

●企業展には何を持って行きましたか？

H「筆記用具と身だしなみ用品とか…かな？あとは特に…だいたいパンフレットとか渡されていっぱいになる
から」

●あまり物は持っていない方が良い？

H「でも袋もらえるよね？その中にコートとかもみんな入れてたりして」

Y「冬だから、脱がなきゃいけないし。絶対に袋もらえるから、まとめて入れて」

H「ナゴヤドームみたいなホールでやるから、預けたりとか出来ないしね」

●では続いて、客室乗務員志望だったお二人の就職活動の流れを教えてください。最初に面接について、回数は何回ぐらい？

Y「だいたい3回」

H「初めは書類審査があって、それをパスしたら一次面接、二次面接、で最終」

Y「でも割と3回だったら普通な方かな？」

H「平均だと思う。私6回やった事ある(笑)英会話なので…6回。えっと…集団面接が3回、個人面接が3回って言うのがあって、びっくりしたけど(笑)でも練習になったかな？個人面接も1時間とかだったから」

●1時間は珍しい？

Y「うん。だいたい20分とかだよ？最終でも」

H「うん。客室乗務員で1時間は無いかな？」

Y「あっと言う間に過ぎてく」

●人数は何人ぐらい？

H「私の方は一次面接が面接官2対受験者5、二次面接が面接官2対受験者3、最終は面接官2対受験者1でした。一人に対する時間もだんだん長くなってく」

●時間はどのくらい？

H「一次はだいたい3回質問されて5人が答える様な感じだったけど、二次になると3個の質問を3人で。どちらも一人20分。最終も一人で20分。あっと言う間だよ！」

Y「私は最初すごく圧迫されちゃって！だからもう答えるのに必死で…本当にあっと言う間だった。私の方は一次も二次も面接官2対受験者3、最終が面接官3対受験者1だった。一人は優しく、真ん中の人はまあまあ怖くて、一番右がめっちゃめっちゃ怖くて(笑)部屋ごとに違うみたいなんだけど、私はたまたま圧迫の部屋に入ってしまった…」

●圧迫の部屋ってあるんですか？圧迫面接？

Y「部屋ごとに雰囲気って本当に違うらしくて、たまたま私は圧迫みたいな。でも圧迫の方が良いかなとか思ったりしました」

H「そうだね。圧迫の方が見込みがあるっていうか…本当にもうどうでもいい子には圧迫しないと思うから。嬉しいサインだと思えば良いと思う」

Y「興味持ってるから、どんな反応するのか知りたいんだろうぐらいの気持ちで。本当は優しい人だし」

●面接の独特の雰囲気には慣れますか？

2人『慣れるね』

H「エアラインの面接は本当にみんながピシッとしてて、ちょっと…なんかドキッとするけど(笑)」

Y「ねー！言葉遣いも丁寧だし」

H「でも慣れれば全然大丈夫だよ」

●どんな質問をされましたか？

H「私は一次面接が…本当に部屋が何個もあって部屋によって質問も違ったんですけど。私の部屋はまず一次、二次、三次、すべて『なんでこの会社を選んだんですか？』って志望動機的な事を聞かれて…それは絶対聞かれました。『なんで客室乗務員になりたいの？』、『なんでANAなの？』って事は3回聞かれました。あとは3回とも『自己紹介してください』って言われて、そこでは自己PRじゃなくて、本当に『私は愛知淑徳大学の…』とか趣味とか言ったり、本当の自己紹介。それで一次の時は『自分を一言で表すと何ですか？』って聞かれて、それでみんなそれぞれに考えた事とか、思った事を言っていましたね」

●3回聞かれる質問は3回とも同じ様に答えましたか？

H「私は答え方を暗記してた訳ではなくて、『こう聞かれたら、自分のこういう所をアピールしよう』って思ってたから…多分言葉は全く違うけど、でも伝えたい事は同じだった」

Y「私は一次面接は本当に簡単なもので、私も『自己紹介を軽くしてください』って感じで。あとは『今までに行った場所や、食べた物の中でオススメのものを紹介してください』とか。あと『どんな客室乗務員になりたいですか』って感じだった。だから本当に簡単な事だったんですけど、第一印象しか見られていないぐらいな感じで」

H「一次は第一印象重視だから。笑顔とか、言葉づかいとか、話す雰囲気とか…そういうものを見られてると思う」

Y「二次はストップウォッチを持ってこられて、2分きっちり計られて。それで『2個質問するので、1個2分間で答えてください』って言うので、『協調性やチームワークに関連した質問を2分間で答えてください』って言われて。『えっ!!』って思って(笑)一番最初に当てられたからすごく焦っちゃったんだけど、そこはなんとか答えて…『とりあえず2分話さなきゃ!』って言うので、頑張ってたんですけど…。もう最後はとことんなんか『なんで?なんで?』みたいな質問ばかりされちゃって。でも私は志望動機も自己PRも一度も聞かれなくて。だからそれはあんまり…だいたい聞かれると思うんだけど、何も聞かれなくて…。ただサークルをやっていない事とかをちょっと突っ込まれたりとか『サークル入ってないんだよね?』みたいな…『周り頑張ってる人いたんじゃないの?』みたいな(笑)『頑張ってる人もいましたけど、頑張っていない人もいました』とか言って、さらーっと流しといて…(笑)『なんでグラウンドスタッフ受けなかったの?』とか『なんで新幹線で来たの?』とかまで聞かれて(笑)とことんとりあえず責められるみたいな!同じ質問を2回されたりとか」

●『それに耐えられるか?』という事なんですかね?

Y「接客業だから、そう言う人もいっぱい乗ってくるから、そういう人にもちゃんと対応できるか?っていうのを見てるんだと思う」

H「どんな反応するのかな?とか、どんな答え方で納得させるのかな?みたいなのかを多分すごい見てるのかな?って思う」

●では、質問された時に相手が何を知りたいのかって言うのをすぐに見分けられるかって言うのは重要になってきますね。

H「そうだね。でも私は最初の時に一回も自分のこと…履歴書について質問されなくて、本当に『航空業界これからどうなっていくと思いますか?』とか、そう言う自分の考えをちゃんと言えるかとか、そういうのも見てたのかなーって。なんか…なんだろうね?志望動機は多分だいたい似てくるから、きっと。本当にその本人がどういう人かって言うのを見たくてきっと志望動機を聞かなかったんじゃないかなって思う」

Y「聞かれた人もいるかもしれないけど。でも最終ではJALとANAの違いを絶対聞かれるって言うのを聞いて、やっぱり二社は対抗じゃないけど、ライバルみたいなものだから。どちらでも結構聞かれる質問だと思うんだけど。私はたまたま聞かれなかったんだけど。だからやっぱり会社に入りたい熱意っていうのもすごく大事だと思う」

●同じ職種でなぜこちらを選んだかって言うのは重要ですよ。

H「すごく重要」

Y「すごいそこは突っ込まれると思う」

●そこは考えましたか?

Y「すごく考えた!すごく準備して行ったのに聞かれなかった(笑)」

H「考えたね(笑)」

●面接の時、何を持って行きましたか?必需品はありますか?

H「そうだねえ…ストッキングとか…ストッキングはマストで(笑)いつ伝線してもいいように、私は一応2足持

ってて。あと筆記用具はもちろんだし、鏡、化粧ポーチ、小さいケーブ…スプレーとか。あと自分で作った面接集みたいな、こう聞かれたらこう答えるって言うのを書いたノート？就活ノートみたいなものを持って、ちょっと安心して(笑)大丈夫大丈夫って」

Y「あとは…私は一応、印鑑を毎回持ってて、『印鑑漏れがあったら大変だ!!』と思って。やっぱり面接では何があるか分からないし、確認したと思ってても漏れてる事があるかもしれないから…一応印鑑は持ってた。あとはゴミ袋も一応携帯して、筆記試験の時に消しゴムのカスとその辺に捨てるのはいけないと思って(笑)一応ゴミ袋持ってって、そこに捨てたりとかはしてたかな？」

●それはすごいですね！そこまで見られてるなって？

H「でも常に見られてるって意識はすごいある！」

Y「実際見てる会社はあるから。消しかすだけでも…って言うのを聞いたので、気をつけよって」

●そういう情報を仕入れていかないといけませんね！

Y「そう！情報！情報だよね」

H「情報のために友達がすごく大事で。友達からの情報がすごく大切だから。一人では就活できない」

●やっぱり友達間でもそういう話をするんですか？

H「自然に。もうその時期は会っても就活の話になっちゃうから(笑)」

Y「なんか…いいよね！気分転換にもなるし、友達と会うと。やっぱり友達も同じ就活で同じような辛さとか、大変さとかあるから。家にいるよりも、出てきた方がスッキリするし」

H「学校がある方が良い！」

Y「本当に！私、久しぶりに学校に行ったら『こんなにいいものか！』って思ったもん(笑)」

H「みんなに会えると嬉しい」

Y「春休みだから会えなくて」

H「ずっと一人だもんね」

Y「そう！ずっと一人で寂しかった」

●やっぱりだんだん落ち込んできたりしますか？

Y「そう…落ち込んだりとか…」

H「波があると思う。良いつて思う時と、もうダメな時と。それはしょうがないことだから」

Y「だからダメな時にやっぱり友達に会って、話を聞いてもらったりするだけで本当に楽になる」

H「あと、その夢を叶えた後の自分を想像したり(笑)本当、『就活終わったらこれする!』とかって書きだしたり…旅行したいとか(笑)『そのために頑張る!!』って言うのをやってた！」

●面接のため遠出する事もありますよね？交通費はどのくらいかかりますか？

H「交通費は東京→名古屋間が一往復だいたい2万円くらいで、その×6回ぐらいかなー？私は。最終は企業が交通費を出してくれるから。あと大阪にも3回ぐらい行ったから…どれ位なんだろうって、ちょっと不安(笑)」

Y「計算したことない」

H「計算したことないね。…20万くらいいくのかな？やっぱり…。そのくらい見とけばいいと思う」

Y「地元企業だけを受けてる子だったら全然かからないから良いんだけど…」

H「でもこういう職種だとどうしても東京か大阪になっちゃうから」

●結構、用意はしといた方が良いですか？

Y「うん。もしそういう風に東京とかの企業もちゃんと受けたいって子は用意しといた方が良いと思う」

●安く行く方法はありますか？

H「うん、学割がきくから、20%割引き」

●やっぱり新幹線ですか？

H「新幹線！夜行バスって子もいたけど、やっぱり辛いからね…万全で行きたいから！(笑)だからそれだけはち

よっと親に頼んで」

Y「本当、親の支えだったね」

H「でも名古屋は良い方で、本当に北海道とか沖縄から来てる子もいて、そういう子は一往復で5万だから。そういう子も実際にいて、『3回来てるからそれだけで15万だねー』って言って。だから本当にまだ名古屋で良かったって思った方が良くと思う」

Y「新幹線も意外とすぐ着くし、楽だからね」

H「東京まで一時間半だし。大阪だと50分くらいで行けちゃうから。普通に私は9時からの面接に大阪まで行って、帰って来てここで授業受けたりとかあったから(笑)」

●ハードですね(笑)

H「でも面白いよね？そんな時にしか大阪こんなに来れないし(笑)東京も行けないしって考えて」

Y「でも観光とかは出来ないから…精一杯だよな？面接だけで。疲れちゃってね『もー帰ろー!!!』って(笑)」

H「一人スーツで観光しても面白くないしね(笑)」

Y「そこはちょっともったいないかなーって思うけど…疲れたね」

H「疲れたね、帰って来たあとはね」

●面接や移動の空き時間は何をしていましたか？

Y「面接の空き時間は、隣の子とずっとしゃべってた。情報交換にもなるし、隣にいる子はだいたい面接を一緒に受ける子だったので、しゃべるとくと雰囲気も良くなるし、仲良くなって。ライバルだとは思わずに」

H「あと、客室乗務員の方が実際近くにいる、和ませてくれるから。だから本当にリラックスして…私達がリラックスして臨めるようにそういう人達がいてくれるから。それは両社共あった」

Y「だから、話を聞かせてくれたりとかもして」

H「私が『名古屋出身です』って言ったら、『今度名古屋にフライト行くんだー』とか言って(笑)『ああ良いな!!!』って。『名古屋のあと沖縄行くのー』とか聞いて、『ああ良いですねー!!!』って。実際に現役の人としゃべれる訳だから、すごく嬉しいし」

Y「私は体力測定があって、それで健康診断のあとに体力測定だったんだけど、お昼にすごい時間が余った時でも客室乗務員の方が本当に来てくださって、『なんでも聞いて良いよ!』みたいな。本当にすごくフレンドリーで。『本当にいいなこの会社!』って思ったりとかしたし。『このあとの体力測定すごく不安なんです』って気持ちも全部分かってくれるから、アドバイスとかしてくれたりとか、『こうするといいよ』とか。なんか、とにかく会社の人でも、同じ受験者でも話してた」

●自分で面接集をじっくり読み返したりとかって言うよりは…

H「話してた気がする」

Y「私見なかったよ」

H「見なかったね、もうその面接会場に入ったら。それで本当に同じような系列の会社を受けてる子達って、だいたい同じになるから。『あーこの間会った子だね!』とか、『一緒に面接を受けた子だ』って仲良くなったり、一緒に帰ったりしてたから」

●待合室はおしゃべりできる雰囲気なんですか？

H「うん、そういう風に緊張しないように、向こうが対処してくれて」

Y「お茶も用意してくれた」

H「うん、飴とかも。ビデオとか上映してくれたり(笑)」

●いかに緊張をほぐせるかが鍵になってくるわけですね？

H「本当に短い時間だから、そこでいかに自分を出せるかって言うのが本当に大切だから。なるべく素の自分を出せるように和ませてくれました」

●では次にSPIについてお聞きします。どのように勉強しましたか？

H「私は、SPI の教科書を一冊買って、それが全部できて全部覚えたら次を買おうと思ってたけど、そんな余裕もなく(笑)結局一冊。あとエアラインのスクールに通ってたから、そこでエアラインの試験に出るような記述問題とかをよくやりました」

●エアラインの学校があるんですか？

H「あります。けど行ってない人も多いし、淑徳でもそういうセミナーが受講できるから、そういうのを利用して人もいる。時間がある時にちよくちよく問題を解くようにして。あと学校でも12月とかに塾の先生みたいな人が来て、741でみんな一斉に授業するっていうのがあって、なんか本当に塾みたいに数学・国語…1限から4限まで3日間とかやった。あと4日間連続で無料でSPIの授業を受けれるっていうのもあったから、それは利用しました」

Y「私もSPIの教科書を買って…私の場合は本当に数学が出来ないので、本っ当に他の人と比べて出来ないのだから、とりあえず問題を解くんですけど、『絶対これは難しいな』って思う問題はやっぱり飛ばしちゃったりして(笑)でも『これは完璧にしよう』って問題を結構完璧に出来るようにして。それでやっぱり学校で無料のSPI講座を受けて、それが結構私は役立った。自分だけだと全然解けなくて、私は。だから人から教えてもらったりとか、友達にも聞いたりしたし、それで1冊はとりあえずさらっと絶対やったし…そんな感じだよな？」

H「うん。そんな感じ」

●いつ頃からやり始めましたか？

H「解き始めたのが10月くらい…本当に真剣じゃなくて、どんな問題があるかな？くらいで本屋さんに行って、選んで。それでちょっとやり始めてみたりして」

●やっぱり早めに始めた方が良い？

H「そうだね…できるだけって思うんだけど、どうしてもなかなか…最後になっちゃう(笑)でも絶対早めの方が良い！」

Y「『できれば夏休みから始めてください』みたいなことはキャリアセンターの方はおっしゃってたんだけど。私達は留学に行っていて、夏休みにできなかったのもあるし…やっぱSPI嫌いだしとか思って(笑)後回しになっちゃったこともあったんだけど、焦る！」

H「エントリーシートも書かなきゃいけないし、面接の練習もしなきゃいけないし。年明けからどんどん来るから…それまでに」

Y「エントリーシートもやっぱみんな後回しにしちゃうんですよ。だから私の友達もそうだし、私自身もそうだし。『やばい締め切りが!!』って(笑)しかも丁寧に書かなきゃいけないから…失敗しては書き直したり。本当に結構意外にね」

H「一枚書くのに1時間かかっちゃう時もある」

Y「エントリーシートも絶対早めの方が良いし、じゃないとね？もう企業研究どころじゃないよね(笑)」

H「なくなっちゃうよね(笑)やることが多くて」

●しかも客室乗務員だと英語の心配とかってなかったですか？

H「ああ、あります。応募条件にだいたい『TOEIC600点以上』って言うものがあるから、それをクリアできるように」

●TOEICの試験はこまめに受けていましたか？

H「うん。TOEICはもう留学から帰ってからは毎月受けてました。学校も利用して」

●英会話とかも？

H「行ってました、英会話も」

Y「私は行ってないです。TOEICだけしか受けてないです」

●では結構英語は話せますか？

H「うーん、なんだろう？英検の2級ぐらいの感じなのかな？」

Y「ANA は英語面接がないし」

H「本当に TOEIC の筆記とカリスニングみたいなのがありました」

Y「私は英語面接があったんだけど、基本的な事しか聞かれなくて。中には TOEIC の点数を満たしていない子も多分いたと思うので。だから英語もやっぱりとても大切だと思うんだけど、人物が一番大事なのかな？っていうのはすごく感じた」

H「そうだね。本当に帰国子女でも英語を話してる雰囲気とか、なんか…何て言ってもいいかわかんなくてうつむいちゃったらダメだから、何とか伝えよう伝えようって言う姿勢がすごく大切！『笑顔で』って言うのが」

●なるほど！では次に業界における情報収集についてお聞きします。客室乗務員の情報はどのようにして集めましたか？

H「うーん…私は OG 訪問をちょくちょくしてたり、引退したけど以前その会社に勤めていた人とかに話を聞いたり。なんだろうな…パイロットさんに会って話を聞いたり(笑)ホームページはもちろんだし、パンフレットみたいな資料もそうだけど、実際に働いている人の話を聞いて、モチベーションをあげて、『私も入りたいな！』って思いました」

●どのようにしてアポをとるんですか？

H「私はスクールに通ってたので、その先生が以前働いていた人だったり、遠い親戚が外資系の…海外の客室乗務員だったので、ちょっと電話して聞いたり。あとそこから『この人はどこどこで働いていた人だから連絡とってみなよ』って言われて、自分で初めて電話したりして広がっていきました。私の東京の友達とかは、自分のオリジナルの志望動機を作るために会社の人 20 人ぐらいに会ったとか…そう言う人もいるけど、流石にちょっとね(笑)…そう言う人もいるってことで！」

Y「私は、その OG 訪問ってやっぱりなかなか出来ないから…。でもたまたま現役の客室乗務員の方に会った時にちょっと話を聞いたりだとか。やっぱり主にホームページを見て企業研究をして、たまに CSR？会社が出してる報告書みたいなものを取り寄せて、見てみたりとかはしました。あとは私の知り合いの人は、客室乗務員の方がフライトでたまたま地元ステイに来た時にみんなでその人をお願いして一緒に食事をさせてもらったって言ってました」

●自分から行動して知って行かなければいけないんですね。

H「与えてはくれないから。本気でそこに行きたいと思えば自然に動ける」

●では続いて、お二人のこれまでの経験を踏まえて教えて下さい。ずばり！学校の成績って就職活動に関係してきますか？

Y「ほとんど見てない気がする」

H「でも一応、成績証明書は提出したけど…最後に提出しました。普通に授業を受けて、普通にテストで合格してれば、まず問題ないと思う。本番にいかにか力が出せるかとか、自分を出せるかが大事」

●役立つ資格や取っておいた方がよい資格はありますか？

H「もちろん TOEIC は応募条件になるから TOEIC は絶対で。あとよく受ける子は、なんか…日本赤十字救急法救急員みたいな保安面の資格を取る様な感じだけど、私達はちょうど満席で取れなくて…」

●満席で取れない事があるんですか!?

H「もうその時期になると、そういう志願者がどんどん増えて。愛知県、岐阜県、三重県とかでやるんだけど…静岡まで行こうとしたくらいだけどね(笑)」

Y「でもそれも一杯で、ダメって」

H「それが有利、不利ではないんだけど、一応、履歴書に書けたら自分の自信になるなって言う程度」

Y「面接官にも、この子はちゃんと保安面？華やかなイメージだけじゃなくて、保安面って言う大切さも分かってるなって言うアピールにはなるかな？だから取っというて良いに越したことはない」

H「そうそう。夏休みに時間があれば」

●取るんだったら早めに(笑)

Y「ウチら遅かったもーん(笑)」

H「そう！だからその代りにガイドヘルパーを取って。お年寄りとか、目の不自由な方にどうやって接するかって言う…学校の資格講座で受けて」

Y「私達の場合はサービス業のための接客術。お年寄りとか障害を持った方のための資格だったけど。それは結構よかったよね？受けて」

H「あとは無駄に秘書検とか受けて…」

Y「増やしとこうと思って(笑)」

H「一応、いっぱい書きたいから(笑)だから本当に、9月から12月の間にTOEIC、ガイドヘルパー、秘書検は全部一気に取ったかな？」

Y「本当は多分ね、2年生とかに徐々に取っとけばよかったんだけどね、私達やってなかったからね(笑)」

H「そう！だから最後にやりました(笑)」

●就職活動において『人脈』って大事になってくると思うんですけど、どのように人脈を広げていけば良いですか？

H「うーん…人脈か。『出会い』がすごく大切だと思います。就職活動中に会える人達とか。やっぱり同じ様な方面に行きたい子達って集まるでしょ？説明会とか。そこで知り合ったり、あと先輩に話聞かせてもらったり」

Y「うん、先輩。あと私はお母さんの知り合いの娘さんが客室乗務員に受かったっていうので、それですごい連絡をとっていただいたりとかして。なんかなんだろうな…こう！っていう方法はないんだけど、ありとあらゆる所からなんとなく…」

H「そうしとくとね、自然に会えたりするの。自分が動いてると、そういう人が寄って来たり。そういうのがあると思う」

Y「動いてる内に、網に引っ掛かるって言うと言ひ方悪いけど、そんな感じ(笑)」

H「だから、この半年間本当に出会ったし、いろんな人に。本当に濃い半年間だったから…」

Y「濃かったねー…」

H「本当に成長する期間だし」

Y「就活で多分結構成長できると思う。就活前より成長できたかなって私すごい思うし」

H「自分の意見がちゃんと言えられるようになるし」

●内定以上に得るものは大きいですね。

H「もっともっと！それは本当に思う」

Y「まー大変だけどね、損な事はない」

H「大変って今思うけど、でもそれ以上の価値は絶対あるから。達成感は頑張った分だけ着いてくるから。だから途中で挫折とかはしないで、満足して？『なんかこれでいいや』って思わずに、満足できるまで続けて欲しいなって思う」

●では次に多くの方が気になるグループディスカッションの話を。よく『足元を見られる』という話を聞きますが、それを回避するポイントは？

H「私達の職種はどこの会社もそうだと思うんですけど、そんなに難しい質問はされないと思うんですけど、グループディスカッションで。何を観てるかって言うと、話す雰囲気とか…」

Y「思いやりを持って気を遣ってるか？とか…。客室乗務員の場合は内容とかをそんなにすごい重要視してる訳じゃないと思うんだけど…多分気遣いだとか、話し方とか、笑顔がちゃんと出来てるか？とか。そういったことの方が重要」

H「話せてない子がいたら、『何か意見はありますか？』って聞いてあげたり、そういう気遣いの方が大事。あとは一人違った意見を言っている子がいても、『その意見もあると思うんですけど、でも…』って言う…『違う

と思います！』じゃなくて…」

Y「やんわりとね」

H「グループディスカッションもキャリアセンターが練習の場を与えてくれるから。私達がやった時に担当の先生が『君達が一番下手だ』って…(笑)」

Y「すごいダメだしされた！(笑)ショックだったよね」

H「そう…最初は分からないからね、いくら『こういうものだよ』って説明されても、実際にやらないと…慣れだね。自分はリーダーみたいにみんなをまとめるのが得意なのか、意見をまとめてメモする書記がいいのかとか」

Y「できないのにリーダーをやってしまうと苦くなるし、逆に損をしてしまう。向こうからの印象が。でもリーダーはやっぱり積極的で目立つし、プラスの面もすごくあるから…どっちかなんだよね？失敗しちゃうとヤバイし、でも成功すると大きい。自分が出来ると思うならやった方がいいと思うし…練習あるのみ！」

H「うんうん。あとディベートするのもあるし、リーダーとか決めずに『自由に話してください』って言うのもあったし」

●今までのお話を聞いていると、大学の講座がとても役立っていますね。

H「すごく活用したよね？メイクとかも活用したし…SPI もしたしね」

Y「でもメイクは結構人気で埋まっちゃったりするから…」

H「追加もあるけどね！一人一台メイク道具があって、教えてくれて。すごく楽しいの！」

Y「でもビックリしたよね？『え、こんなに口紅濃くていいの？』って(笑)」

H「自分はいつも同じ様なメイクでさ、自分の顔って慣れちゃってるから、本当にプロから指摘されると勉強になるし」

●では最後に、就職活動を控えた学生さん達にお二人からメッセージをお願いします！

H「就職活動は本当に辛いとか、大変だっという風に思われるけど、でも自分を知るチャンスでもあるし、自分を成長させる本当に大切な期間だから…。その当時は本当に大変だけど、でも終わったあと、『本当にこの就職活動をやってよかったな』って思えると思うから、楽しんでいって欲しいなっています」

Y「面接のアドバイスとかでも良い？(笑)」

●大丈夫です(笑)

Y「じゃあ、面接は…(笑)面接はやっぱり絶対にそのままの自分で臨むのが一番だと思うし…飾ろうとするとね、やっぱり緊張しちゃうのね。いつもの自分じゃないし。飾らなければ、そのままの自分で行くんだったら、何聞かれたっていつもの自分が上の方と話してるって感じで、そんなに緊張も…するかもしれないけど、飾るよりは全然減るし、自分らしさも出る。飾っちゃうと本当の自分の良さまで飾られて隠れちゃうから。私は本当にそのままの自分で行くのが一番だなと思うので、面接では飾らずにそのままの自分で！今のうちにどんどん自分が輝けるように色々な経験をして欲しいなっています」

H「笑顔だね！あとは、笑顔を忘れずに！」

Y「前向きにね、笑顔と自信を持って頑張ってください！」

●本日は貴重なお話、本当にありがとうございました!!!

インタビュアー：N・M(国文学科2年)、M・A(国文学科2年)